

会議概要（要点記録）

1	会議名	平成30年度 第1回洲本市自殺0（ゼロ）実現推進委員会
2	開催日時	平成30年7月4日（水）午後13時30分～15時00分
3	開催場所	洲本市健康福祉館 2階 多目的室
4	出席者	<p>&lt;委員&gt;洲本市自殺0（ゼロ）実現推進委員会 委員15人（3人欠席）</p> <p>&lt;事務局&gt; 健康増進課長、同課長補佐、同課係長、同課職員5人</p> <p>&lt;オブザーバー&gt; 地域包括支援センター所長</p>
5	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 第1回 洲本市自殺0（ゼロ）実現推進委員会 次第</li> <li>・洲本市自殺0（ゼロ）実現推進委員会の活動経過</li> <li>・洲本市自殺0（ゼロ）実現計画策定スケジュール（案）</li> <li>・洲本市自殺0（ゼロ）実現計画（案）</li> </ul>
6	会議の概要	<p>1. 開会 健康増進課長が開会</p> <p>2. あいさつ 委員長より</p> <p>3. 委員紹介 自己紹介</p> <p>4. オリエンテーション</p> <p>5. 協議事項 委員長が議事進行</p> <p>①洲本市自殺0（ゼロ）実現計画策定スケジュールについて</p> <p>②洲本市自殺0（ゼロ）実現計画（案）について</p> <p>大項目1～6（1. 計画策定の背景、2. 計画の位置づけ、3. 計画の期間、4. 本市の現状と課題、5. 計画の基本方針、6. 自殺対策の体系）について検討・意見交換。</p> <p>（各委員の意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きるという方向か死なないという方向か、テーマとしてはどちらがいいのか。テーマの“いきたい”のところについては“生きたい”の意味をかけているのか。少し勘違いするかもしれないので、どう表現するのかを考えた方がいい。</li> <li>・子どものデータも入れたらいいのではないか。</li> <li>・子どものこころの教育についての今後の方針がこれでは見ることができない。</li> <li>・小中学生にどう教育していくこともそうだが、洲本市の実態を見ていると高齢者が増えてくる。この辺の取組みの強化が必要ではないか。子どもだけでなく高齢者への対策が必要。</li> <li>・自分から相談することができない方がたくさんいると感じている。このような計画や相談窓口の情報をどのように伝えていくかを考えていくことが必要。</li> <li>・小学生全体、中学生全体の質問が同じでページが違うと見にくい。できれば小学校と中学校とを比べて見やすいようにできたらいい。</li> <li>・精神の方も身体的な病気と同じように早期発見が大事であると思う。このようなデータから分かることは、早め早めのアクションを起こすべきだということ。</li> </ul> <p>子どもにおいては、いじめからの自殺がある。いじめについては触れていないが、この辺について考えていくかどうかの検討が必要ではないか。</p>

- ・自殺された方から理由を聞くことはできないため、自殺を考えたことがある人にはアンケートとして成り立つかは別にして踏み込んだ内容がきければと思った。
- ほとんどの人が自殺を考えたことがない人だと思うので本気で思った方にはそういうご意見を大切にされた方が良いでしょうと思った。
- ・いじめの件でデータは小学校・中学校となっていて、高校生のアンケートがない。
- 一番悩みがあるのは高校生ぐらいではないかと思う。思春期であるのはもちろん、部活関係や色々な学校関係のことがある。
- ・小中学校に関しては力を入れているが、高校生に関しても同様に大事だと思った。
- ・計画 p.12 のグラフで悩みを相談するのは年齢が高くなるにしたがって少なくなっている。
- 小中学校はここに力を入れているが、高齢者の方に対しても力を入れても良いのではないかと。
- ・洲本市の現状からすると、全体的なバランスから考えると小中学校のデータ多すぎるのではないかと。分量的にも小中学校合わせたデータになるとコンパクトになると思う。
- ・3人に1人が未遂経験者というのも、大きな課題であると感じている。救急等の医療機関、警察官との連携が必要になると思う。
- ・各関係機関との連携協働と書かれているが、県でも命を支えるサポートシートということで横の連携を強めていこうと言う動きもある。いろんな窓口につながった人を逃さないというのが大事だと思っているので方針に入っていると良いと思った。
- ・図に関しては、濃い色の上に濃い文字というのは見にくい。また p.6 年齢別のグラフでは縦軸の単位がないため、パーセンテージなのか実数なのかが理解できない。注釈を入れると良いのではないかと。課題のところ学童・思春期では SOS が出せないということが問題と書かれているが、それは言えない環境があるということなので市の取組みとして風通しのいい取組みが必要というのも書いてもらえれば良いのではないかなと思った。
- ・計画の位置づけには何年計画というのがあると思う。この自殺0計画は5年だが他の計画も何年計画かというのもあると思うので、他の計画との関連がわかりこの計画は途切れることなく続いていく計画ということが分かる図などがあると良いと思った。
- ・ p.12 問9の『死んではいけないという説得する』というのはこれでいいのでしょうか？質問項目にあるということはした方が良く関わりに見えるのではないかと気になった。
- ・ p.14 のストレスの対処方法でストレスをどう対処していけるのかというのは個々で考え方が違うと思う。社協にも死にたいと相談に来る方が2名ほどいるが、本人にしたらどう発散したらいいのかが分かっていない場合が多い。全ての人に当てはまらないとは思いますが一人で解消法はこんなのがあるヒントになるような記載があったら良いのではないかなと思った。
- ・ p.8 にある自殺危機経路が大変分かりやすい。相談に来るケースは複雑な経緯をたどっていることが多い。相談を聞く側としてもこの図を使いながら何か繋ぎ合わせられるのではないかなと思う。

6. その他 第2回委員会の予定について

7. 閉会 副委員長より